

# HPE INFOSIGHT

## クラウドストレージソリューション



### 概要

HPE InfoSightによってストレージの管理およびサポートの方法が変わることで、問題や無駄な時間が削減されます。HPE InfoSightは、クラウドベースの予測分析と機械学習を通じて、ビジネスに影響が出る前に86%の問題を予測し解決し、99.9999%の可用性を保証します。[1] [2] 毎秒何百万ものセンサーが分析され関連させます。そのため、あらゆるお客様のシステムが時間の経過とともにスマートになり信頼性が向上し、大きな利益を得ることができません。HPE InfoSightは、インフラストラクチャを24時間365日で監視しているため、ストレージの問題への対応に深夜でも週末でも貴重な時間を費やす必要がなくなります。

### 機能

#### 問題の予測と回避

プロアクティブな問題解決: HPE InfoSightは、サポートエンジニアが問題を把握する前に、その86%を自動的に予測して解決します。[1]

ストレージ以外の問題の解決: HPE InfoSightは、インフラストラクチャスタック全体からデータを収集し関連させることで、ストレージや仮想マシンなどの根本問題を明らかにします。実際、InfoSightが解決する問題の54%はストレージ以外にあります。[4]

既知の問題の防止: あるシステムで問題が検出されると、InfoSightは問題を予測し、インストール環境にあるほかのシステムで同じ問題が発生しないように予防します。

### グローバルな可視化と学習機能

**独自の機能:** HPE InfoSightは、インフラストラクチャ全体を俯瞰しながら、過去から未来の問題にまで対応できます。ストレージから仮想環境に至るまでの詳細なヘルス情報とパフォーマンスインサイトを提供します。

**計画の策定を簡素化:** HPE InfoSightによって計画時における当て推量を取り除くことができます。キャパシティ、パフォーマンスおよび帯域幅のニーズを正確に予測します。インストールベースから学習した内容を通じて得られたモデルを使用して複数のシナリオを探索することもできます。

**ストレージをもっとスマートに:** インストールベースからもたらされる豊富なインサイトや経験から学習することにより、システムをさらに強化してその信頼性を高めることができます。

### 実際のニーズに合ったサポート

プロアクティブに問題が解決され、レベル1や2のサポートが不要になります。サポートが必要となる場合もまれにありますが、その場合、レベル3のサポート専門家と直接対話して迅速に問題を解決できます。大きな労力を伴うエスカレーションは不要となり、スムーズなサポート環境が実現されます。

**根本原因の迅速な特定:** HPE Nimbleのサポートエンジニアは、ストレージ、サーバー、OS、ハイパーバイザー、およびアプリケーションについて深い専門知識を有しています。HPE InfoSightは問題と環境に関するあらゆる情報をすでに収集しているため、非常に複雑な問題であってもその根本原因を簡単に特定できます。

**HPE InfoSightサポートからの連絡:** HPE InfoSightが自動的に解決できない問題が検出されると、問題がストレージ以外にある場合でも、HPEのエンジニアは問題をプロアクティブに調査し、問題を解決するために推奨される方法を提案します。誰に連絡するかを迷うことはありません。HPE InfoSight サポートからお客様に連絡します。



追加の技術情報、使用可能なモデルとオプションについては、QuickSpecsを参照してください

## HPE POINTNEXT SERVICES

HPE Pointnext Servicesは、テクノロジーと専門知識を結集して、お客様のビジネスを前進させ、将来への備えを支援します。

### HPE Pointnext Servicesの各種運用サービス

HPE Pointnext Tech Careは、製品に特化した専門家への迅速なアクセス、AI主導のデジタルエクスペリエンス、一般的な技術指導を提供し、継続的なイノベーションを可能にします。より迅速な対応と、より大きな価値を提供するために、ITサポートをゼロから再構築しました。単なる故障の修理とは一線を画しており、より優れた方法を常に探し続けることで、HPE Pointnext Tech Careはビジネス目標の達成にお客様が集中できるようサポートいたします。

HPE Pointnext Complete Careは、総合的なアプローチでIT環境全体を最適化する、エッジからクラウドまでのモジュール式IT環境サービスであり、顧客中心の個人化されたエクスペリエンスを通して、同意されたIT成果とビジネス目標を達成します。これらのサービスはすべて、HPE Pointnext Servicesの専門家チームが担当いたします。

HPE統合およびパフォーマンスサービスでは、個々のニーズ、ワークロード、テクノロジーに基づいたサービスメニューにより、製品ライフサイクルのどの段階でもお客様がユーザーエクスペリエンスをカスタマイズできるようサポートします。

- アドバイス、設計、変革
- 展開
- 統合と移行
- 運用と改善
- 金融サービス
- GreenLake管理サービス
- 廃棄とサニタイズ
- ITトレーニングと自己啓発

### その他の関連サービス

HPE Education Servicesは、デジタルトランスフォーメーションに必要なスキルを伸ばそうとしている従業員の皆様に包括的なサービスで支援します。ご不明な点やサポートオプションの詳細については、HPEの営業担当者または認定チャネルパートナーまでお問い合わせください。

Defective Media Retentionは、不具合によってHPEが交換したディスクまたは対象となるSSD/フラッシュドライブを保持できるオプションサービスです。

## HPE GREENLAKE

HPE GreenLakeは、IT-as-a-Service市場をリードするHPEのソリューションです。統合型運用モデルにより、データセンター、マルチクラウド、エッジなどの場所を問わず、アプリケーションやデータをハイブリッドクラウドで利用できます。HPE GreenLakeでは、パブリッククラウドサービスとオンプレミス ワークロードに対応するインフラストラクチャの両立を、完全管理型の従量制課金モデルで実現します。

ITファイナンス ソリューションなどその他のサービスについては、[こちら](#)をご覧ください。

[1] 出典: HPE Nimble Storageサポート組織によって収集された実際のお客様データに基づいています。  
[hpe.com/h20195/v2/Getdocument.aspx?docname=a00018503ENW](https://hpe.com/h20195/v2/Getdocument.aspx?docname=a00018503ENW)

[2] 出典: HPE Nimble Storageサポート組織によって収集された実際のお客様データに基づいています。  
[hpe.com/h20195/v2/Getdocument.aspx?docname=a00018503ENW](https://hpe.com/h20195/v2/Getdocument.aspx?docname=a00018503ENW)

[3] 出典: HPE Get 6-Nines Guarantee, HPE Nimble Storage, 2017年9月。

[4] 出典: HPE Nimble Storageサポート組織によって収集された実際のお客様データに基づいています。  
[hpe.com/h20195/v2/Getdocument.aspx?docname=a00018503ENW](https://hpe.com/h20195/v2/Getdocument.aspx?docname=a00018503ENW)

適切な購入決定を行います。  
プリセールスのスペシャリストにお問  
い合わせください。



今すぐチャット



今すぐ共有



アップデートを入手

Hewlett Packard  
Enterprise

© Copyright 2022 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

部品/部材: HPEは、保証対象のハードウェア製品の保守に必要となる、HPEがサポートする交換用部品および部材を提供します。

メーカーの操作マニュアル、製品のQuickSpecs、または製品のテクニカルデータシートに記載された、サポートされている最大ライフタイム、最大使用限度、またはその両方に達した部品およびコンポーネントは、このサービスでは提供、修理、または交換されません。

画像は実際の製品と異なる場合があります。  
PSN1010331235JPA, August, 2022.